

理事長懇談会開催

6月26日(水)に弊財団の理事長懇談会を実施しました。鹿島建設株式会社殿より「東京イースト21へのスマートエネルギーネットワーク導入」既存街区の付加価値創造とオフィスのBCP※1性能向上への取り組み」について、「講演いただき、幣財団より柏木理事長が「エネルギー政策の方向性について」を講演しました。また、施設の見学会を実施しましたので、ここに紹介します。

「東京イースト21へのスマートエネルギーネットワーク導入」 既存街区の付加価値創造と オフィスのBCP性能向上への取り組み」

「東京イースト21」は1992年に竣工したオフィスやホテル、ショッピングモールなどで構成される約14万㎡の複合施設で、東日本大震災を契機に、災害に強いエネルギーシステムとするため、BOS※2対応高効率コージェネレーション導入や見える化システムの導入など、スマートエネルギーネットワークを構築した。

東京イースト21の概要

所在地	東京都江東区東陽6-3-2
建物用途	ホテル、事務所、商業施設
設計・施工	鹿島建設(株)
構造	地下RC造、地上SRC造
階数	地下2階、地上21階、塔屋1階
竣工年月	1992年7月
敷地面積	33,070㎡
延床面積	141,803㎡
ホテル棟	約35,500㎡



ビジネスセンター棟屋上
(CGS設置状況)



※1 BCP: Business Continuity Plan 事業継続計画
 ※2 BOS: Black Out Start 停電時に発電機を起動すること
 ※3 ICT: Information and Communication Technology 情報通信技術

特長① 東京イースト21スマートエネルギーネットワークの

電力供給の多様化、信頼性向上

- ・供給停止リスクの低い中圧ガス利用BOS※2対応高効率コージェネレーションシステムをビジネスセンター棟(地上4階建)屋上に設置
- ・浸水リスクなど回避したオールリスク対応タワー棟オフィス専有部に20VA/㎡のBOSコージェネレーション電源供給計画
- ・非常用自家発電設備も含め自立性の高い都市再生を目指している。

特長②

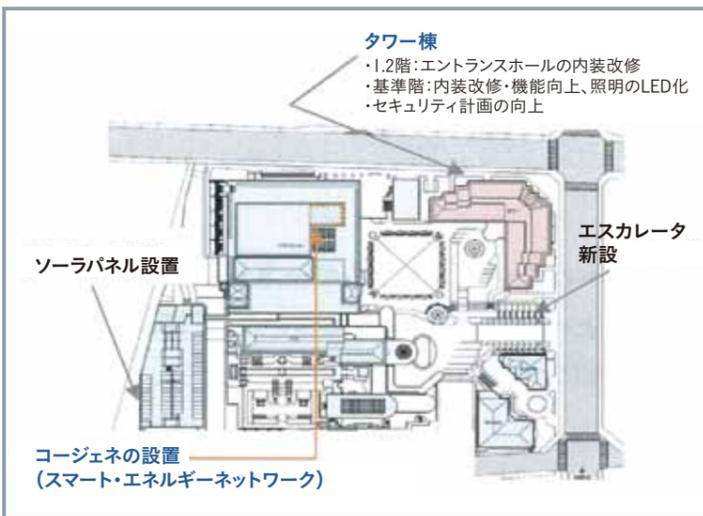
複数の建物間における電気と熱の有効利用

- ・オフィス、ホテルなど熱や電気の需要、パターンの異なる複合用途の建物間で、電気と排熱を含む熱エネルギーを無駄なく、面的利用する計画としている。
- ・排熱利用冷凍機を新設し冷暖房に供給することにより、省エネルギー性の向上も図っている。
- ・停電時にコージェネレーションの発電量を有効利用する「ジェネスマート」も適用している。

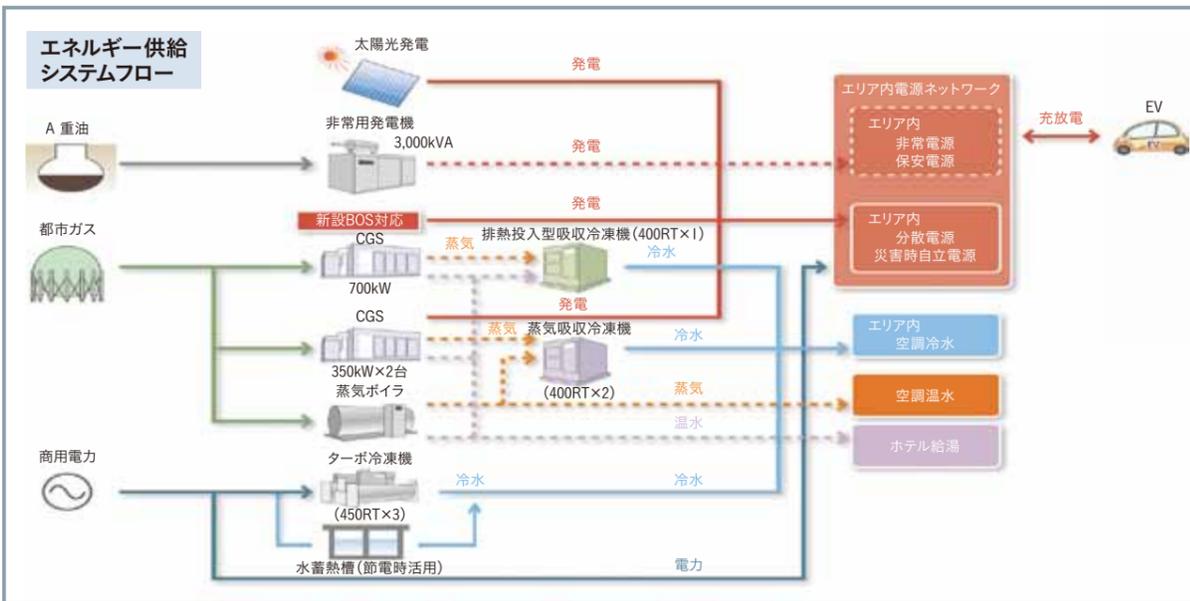
特長③

電力とエネルギーの見える化

- ・電力やエネルギーの利用状況や施設全体のエネルギー融通をICT※3によりリアルタイム表示
- ・省エネ行動を推進する計画としている。



オフィスリニューアル



出典: 鹿島建設株式会社資料より